コミスタ漫研部 強化メニュー

今回、主人公ハナジとその仲間たちの話題に上った、ComicStudio の機能や使い方をしっかり復習できる「強化メニュー」です。さらなるレベルアップを目指そう！

第 11 話 『揃えて嬉しいトーン素材集』より

あればあるだけ嬉しい！そして、いくらでも欲しいのが、トーン素材。ComicStudio では、別売りのトーン素材集を買ってトーンを追加することもできますし、CLIPSTUDIO のマテリアルサービスから、ユーザーの作ったトーンをダウンロードして使うこともできます。今回は、自分でオリジナルトーンを作成する方法を紹介したいと思います。

背景トーンとパターントーン

ComicStudio では、グレースケールの画像を読み込んで網点のトーン (背景トーン) にする方法と、モノクロ 2 階調の画像を読み込んで、パターンを登録するトーン (パターントーン) の、2 つの方法があります。

背景トーン (グレースケール)

【特徴】

- グレースケールでデータを作成する。
- ComicStudio でトーンとして読み込んだ時、自動的に網点化してくれるので、比較的制作が容易。
- モノクロと比べてデータを軽くできる。
- 使用サイズの変更等をおこなっても、パターンの荒れが少なくモアレない。
- すべて網点で表現されるため、表現の幅が狭い。

パターントーン (モノクロ 2 階調)

使用倍率によって、雰囲気が変わる場合があります。

【特徴】

- モノクロ 2 階調で画像を作成する。
- 網点以外の、点描やカケアミ、砂カケアミなどの多彩な表現ができる。
- グレーと比べて容量が大きくなりがち。
- 使用サイズの変更をおこなうと、トーンの雰囲気が大きく変わる場合がある。

それぞれの特徴がわかったところで、実際に作り方を説明していきます。

背景トーン (グレースケール) を作ってみよう！

グレースケールの網点のトーンを作るには、グラフィックソフトでグレーの JPEG 画像を作成し、ComicStudio のトーンとして読み込みます。データは ComicStudio でトーンとして読み込んだ時に自動的に網点化されます。

トーン作成時の設定

グレーの網点のトーンを作る場合、下記の設定で作ります。

■ 画像サイズ　：A4 サイズ
■ 解像度　：350dpi
■ カラーモード　：グレースケール
■ データ形式　：JPEG
■ 画質　：最高（低圧縮率）

画像サイズに関しては、トーンのデザインにあわせて変更して下さい。画面全体に貼るようなタイプのトーンは、A4 サイズで制作しておくと、投稿サイズの原稿用紙にも貼ることができるので、オススメです。

また、トーンは JPEG 形式で保存しますが、この時、画質はできるだけ高め (最高もしくは高画質) で保存してください。[低画質] や [普通] で保存してしまうと、圧縮してデータを軽くするため、画像が劣化し、キレイなトーンにならない場合があります。

Memo　トーンの解像度

ComicStudio の基本解像度は 600dpi ですが、グレーベースの網点のトーンを作る場合は、解像度が低くても大丈夫です。グレーのトーンを 600dpi の高解像度で制作すると、処理が遅くなる場合があります。解像度の目安は 350dpi。そして、データ容量は 3MB 以下にしておくと良いでしょう。

ComicStudio にトーンを読み込む

完成したトーンを JPEG 形式で保存したら、今度は ComicStudio にトーンを読み込みます。

1. [素材パレット] を開きます。[トーン] フォルダの中にある [ユーザー] フォルダを開き、新しくフォルダを作ります。

2. [素材パレット] の [新規トーン] ボタンを押します。

3. [トーンの種別] で [背景] を選び、右側に出てくるフォルダアイコンを押します。

フォルダアイコンをクリックし、トーンにしたいファイルを選びます。

4. トーンにしたい JPEG 画像を読み込みます。

5. [パターンを表示] をチェックすると読み込んだトーンが表示されるので、トーンの明るさやコントラストを調整し、[新規トーン作成] ボタンをおします。

6. トーンが作成されました。

[トーンファイル] の下の [説明] の項目に、トーンの内容についてのキーワードを入れておくと、検索時に便利です。

トーン読み込み時に、[基本設定] の［種類］をデフォルトの［円］から［ノイズ］や［線］にしてもトーンの雰囲気が変わります。色々試してみて下さい。また、一度読み込んだトーンは、[プロパティパレット］でいつでも設定の変更ができます。

パターントーン(モノクロ2階調)を作ってみよう！

パターントーン(モノクロ2階調)とは、点描や砂かけ、自分で描いた線画のトーンのことです。背景トーン(グレースケール)では、グレー部分を自動的に網点化しましたが、モノクロ2階調のトーンは、網点化しないでそのまま使います。

パターントーン(モノクロ2階調)の場合は背景トーン(グレースケール)のトーンと違って、トーンとして使用した時に［使用倍率］を変更すると点がつぶれてしまったり、ニュアンスが変わってしまったりする場合があります。なるべく、「そのまま貼り付ける」というのを意識してトーンを制作しましょう。

トーン作成時の設定

パターントーンを作る場合、下記の設定で作ります。

- ■ 画像サイズ　：A4サイズ
- ■ 解像度　：600dpi
- ■ カラーモード　：モノクロ2階調
- ■ データ形式　：BMP

Memo　BMPとJPEG

背景トーン(グレースケール)では[JPEG]形式で保存しましたが、パターントーン(モノクロ2階調)は[BMP]形式で保存します。これは、[JPEG]形式は、カラーの写真やグレーなどの階調のあるデータの保存には適していますが、モノクロ2階調の画像の保存には適していないからです。モノクロ2階調の画像を[JPEG]形式で保存すると、容量が大きくなってしまいます。

ComicStudioにトーンを読み込む

完成したトーンをBMP形式で保存したら、今度はComicStudioにトーンを読み込みます。背景トーン(グレースケール)は[トーン]フォルダから直接トーンを読み込みましたが、パターントーン(モノクロ2階調)の場合は、一度、ページに貼り付けてから[パターントーン]として登録する必要があります。

1. 新規作成で、読み込むトーンと同じ、もしくはそれ以上のサイズのページを作る。

2.[ファイル] メニューの [読み込み] から [画像ファイル] を選ぶ。読み込みたい画像を指定する。

3.[種類：ラスターレイヤー／解像度：600dpi ／表現色：グレー／減色手法：疑似階調] の設定で読み込む。

4. 画像を読み込んだ画像レイヤーを選択し、[編集] メニューの [パターンを登録] の [トーン素材] を選ぶ。

5. トーンが登録されました。

トーンにする画像を読み込む時は、読み込み先のレイヤーの設定を [グレー]、[白黒 2bit] で読み込む時は、[白を透明にして貼り付け] で読み込みます。これ以外の設定で読み込むと、背景が白い、下の絵が透けないトーンになってしまいます。

トーンを自作できるようになると、自分の思い通りの表現ができるようになります。色々なトーンを作ってみてください。